

# 全科協ニュース

URL <http://jcs.m.kahaku.go.jp>

全国科学博物館協議会 ☎110-8718 東京都台東区上野公園 独立行政法人国立科学博物館 Tel.5814-9857 Fax.5814-9898 平成15年11月1日発行（通巻第193号）

## 特集 博物館ネットワークの効果的な利用 企画展と国際的なネットワーク

ミュージアムパーク茨城県自然博物館 小幡 和男

### 企画展への期待度

ミュージアムパーク茨城県自然博物館(以下当館という)は、常設展示のみでは伝えきれないタイムリーな話題を、楽しく分かりやすく来館者に提供するとともに、充実した博物館資料の収集と情報ネットワークの構築を目指し、企画展の開催を最も重要な博物館活動の1つに位置づけている。

当館の年間入館者数はここ数年42万前後で推移しているが、来館者アンケートの集計結果から入館者のうち約6割がリピーターで、企画展の見学を目的として来館する人が、常設展示の見学や野外施設の利用を目的とする人を上回っている。また、アンケートには当館の企画展開催に関する情報を半数近くの人が事前に知っていたという結果もでており、いかに来館者が企画展に期待を寄せているかがうかがえる。

### 企画展はこうして開催される

当館では、ここ数年企画展を年3回、小規模なトピックス展を年1回開催している。企画展では、春休みとゴールデンウィークを期間に含む春季展、夏休みを中心とした夏季展、秋の行楽シーズンから冬休みにかけての秋季展をそれぞれ約3カ月間開催している。そのほか、市民コレクション展など小規模のトピックス展を2月に開催している。

企画展のテーマについては、一般の来館者からの声、博物館モニター(平成13年度から開始、現在213名)からの提案なども参考にして、学芸系職員が原案を作成している。そして、遅くとも開催3年前までにテーマとプロジェクトチームメンバーを決定している。プロジェクトチームは、基本的に5名の学芸系職員と広報と予算担当の職員計7名

で構成される。18名の学芸系職員は、およそ1年に1回は企画展に携わることになる。準備期間が3年間あるので、1人が3つ4つの企画展にいつも関わっている状況にある。

学芸系職員の仕事の中で企画展はかなりのエネルギーを費やすものとなっているが、その評価が入館者数等に反映されるため、やり甲斐のある仕事でもある。

### 3種類の企画展

通常の企画展は、「国内協力展」と位置づけ、関係機関から展示資料の提供やアドバイスなどの協力を得ながら実施している。また、3年に1度の割合で、県内の自然調査の成果を公表する「研究報告展」を実施している。さらに、年に1回の開催を目標に「海外協力展」を実施している。

これら3種類の企画展のうち、来館者への地球的規模での最新の自然情報の提供、国際的なネットワークの構築と世界各地の自然史資料の収集など、当館における過去8回の海外協力展は種々の貢献をしてきた。

### 海外協力展が契機となった姉妹館締結

当館は建設準備段階から、国内の自然史系博物館ではこれまであまり活発ではなかった海外の博物館との交流に力を入れてきた。開館記念企画展「サーベルタイガーの世界」の開催では、ロサンゼルス郡立自然史博物館の協力を得た。これは、茨城県とアメリカ・ロサンゼルス郡との従前から交流の延長上で実現したものであり、その後も同館とは活発な交流が続けられている。第7回企画展「鯨・太古からの使者」、第13回企画展「鯨 Cetacea」は、同館の豊富な展示資料を中心にバック化されたものを借用し、当館の所蔵品や国内の諸機関から借用した資料をあわせて、独自の企画展にまとめたものであった。企画展以外にも、教育

活動に関する共同研究を実施したり深い交流を続け、平成10年には姉妹館関係を締結した。

一方、第3回企画展「絶滅動物からのメッセージ」は中国・内蒙古自治区博物館の協力を得て実現した。同館との関係は、常設のシンボル展示として、内蒙古自治区で発掘され、同館が実物を所蔵している松花江マンモスと世界最大級の恐竜ヌオエロサウルス骨格レプリカを展示したことに始まる。ロサンゼルス郡立自然史博物館より1年早い平成9年に姉妹館を締結し、その後も緊密な交流を続けている。

### 海外協力展から得られるもの

海外協力展の実施に当たっては、克服しなければならない問題点も少なからずある。まず大きな費用がかかることである。海外協力展は資料の輸送や海外からの関係者の招へい等の出費が大きいため、通常の企画展の2倍以上の費用がかかる。また、準備に当たっては、現地調査や取材、関係機関との交渉など多くの時間と労力を必要とし、言葉の障害も大きい。しかし、開催によって得るものは、多大な費用や労力以上に大きいものがあるといえる。

海外協力展の開催は、来館者に海外の最新の自然情報を提供することのみならず、博物館活動に幅と厚みを与えることにつながっている。海外のまとまった自然史資料の充実が図られたり、協力機関と企画展開催後も良好な関係を維持し、国際交流を推進することができるからである。

例えば、第13回企画展「妖精たちのすむ森から」では、コスタリカ国立博物館が当館の依頼に応じて、368種1,052点の植物標本や340種439点の昆虫標本などを企画展のために作成し、送付してくれた。これらの資料は、中南米の自然を理解する上での重要な収蔵品となっており、日本の他の博物館で開催された企画展でも利用されている。

また、第18回企画展「シーボルトの愛した日本の自然」は、オランダにあるライデン国立自然史博物館、同民族学博物館、同植物標本館の協力を得て開催したが、植物標本館とは開催後も緊密な関係を続けている。当館からは植物標本館へ、シーボルト植物標本のデータベースに載せる植物写真を提供した。植物標本館からは当館へ、交流を記念して、シーボルト植物標本の寄贈があった。この植物標本のいわば「里帰り」は、日本で最初の出来事であった。

### 開館10周年に向けて

平成16年は、当館の開館10周年に当たる。10周年を記念



コスタリカ国立博物館から送られ展示された昆虫と植物の標本



オランダ国立植物標本館からシーボルト標本の寄贈を受ける

する企画展として「ゴビ砂漠の恐竜とともに」（仮称）を計画し、内蒙古自治区博物館の協力により現在準備を進めている。平成13年から3年間に及ぶ現地での調査を実施してきたが、今年は、恐竜の足跡化石レプリカ製作や、植物相の調査に伴う200種を超える草原の植物標本の収集などの成果を上げた。

また、10周年記念イベントとして、アメリカ、中国、韓国、ニュージーランドから博物館関係者を招へいし、新しい博物館像を探る「環太平洋国際シンポジウム」の開催を予定している。

現在、地方自治体の財政は大変厳しい状況にあり、これまでのように海外協力展を続けていくことは難しいと思われるが、ここまでの成果を大切に、今後の博物館活動の糧としていきたい。

ミュージアムパーク茨城県自然博物館における海外協力展

回	企画展名称	会期	協力機関	入館者 (人)
1	サーベルタイガーの世界 (開館記念企画展)	H 6 . 11 . 13 ~ H 7 . 1 . 16	アメリカ ロサンゼルス郡立自然史博物館	163,836
3	絶滅動物からのメッセージ 緑と水の世界からゴビ砂漠まで	H 7 . 6 . 27 ~ H 7 . 9 . 24	中国 内蒙古自治区博物館	169,426
7	鯨・太古からの使者 サメと人との共生を考える	H 8 . 7 . 6 ~ H 8 . 9 . 16	アメリカ ロサンゼルス郡立自然史博物館	126,217
10	アマルガサウルスの棘突起はなぜ長い アルゼンチンの恐竜と自然	H 9 . 7 . 5 ~ H 9 . 9 . 15	アルゼンチン アルゼンチン国立自然博物館	126,650
13	妖精たちのすむ森から コスタリカの生物多様性とその保護	H10 . 7 . 11 ~ H10 . 9 . 20	コスタリカ コスタリカ国立博物館ほか	105,513
15	鯨 Cetacea 三次元のゆりかごのなかで…	H11 . 1 . 9 ~ H11 . 4 . 4	アメリカ ロサンゼルス郡立自然史博物館	70,943
18	シーボルトの愛した日本の自然 紫陽花・山椒魚・煙水晶	H12 . 3 . 18 ~ H12 . 6 . 18	オランダ ライデン国立自然史博物館ほか	158,981
24	コリアの自然史 大陸と日本を結ぶ生きものたち	H14 . 3 . 16 ~ H14 . 6 . 16	韓国 梨花女子大学校自然史博物館ほか	146,936
31	ゴビ砂漠の恐竜とともに (仮称) (開館10年記念特別企画展)	H16 . 7 . 17 ~ H16 . 11 . 14	中国 内蒙古自治区博物館	—

# 歴史体感

ロボットが誘う、歴史伝説の世界

伝統文化の保存と伝承を目的とした施設、建設にも積極的に参加しております。



◀閃光に驚き、バランスを失う武士たち。



▲刀が振り下ろされるその瞬間、目が眩むんばかりの閃光が走る。

佐渡歴史伝説館 / 日蓮聖人 佐渡法難

文化施設・商業施設・動刻・ディスプレイ・デザイン・設計・制御演出・施工

**kokoro** 〒205-8556 東京都羽村市神明台4丁目9番1号  
TEL: 042-530-3939 FAX: 042-530-4050  
株式会社 **ココ** <http://www.kokoro-dreams.co.jp/>

# 千葉県立現代産業科学館の試み

千葉県立現代産業科学館 学芸課上席研究員 佐藤 哲

## 1. はじめに

当館は、子どもから大人まで、だれもが産業に応用された科学技術を体験的に学ぶことができる科学館として、平成6年6月に開館した。開館以来、毎年34万人以上の利用があり、この7月には入館総数300万人を達成した。

開館以来、毎年館外の協力を得て産業技術や科学技術の広い範囲に題材を求め、話題性のあるテーマで県民に親しみやすい魅力ある展示会を実施してきた。

しかし、博物館全体の予算削減により特別展予算も年々減少し、開催そのものも厳しい状況にきている。当館では館内施設の9割をしめる常設展示場は無料であるが、1割の展示面積で開催される特別展は有料（一般500円、高・大学生400円、小中学生200円）であるため、「入場料をとるのか……」と入場をためらう人も少なくない。

このような状況の中で実施する特別展は企業との共催、他館や全科協等の企画した資料の利用といった開催手法だけでなく、運営面や経費面、内容面でもいろいろと工夫が求められる。

本稿では、全科協の巡回展をベースに、今夏開催した特別展「スポーツの科学—知ろう！さわろう！ためしてみよう！—」について当館での試みについて述べてみる。

## 2. 効果的な利用についての試み

巡回展「スポーツの科学」はスポーツを科学する5つのゾーン（からだを探れ、パワーを探れ、テクニックを探れ、健康を探れ、スポーツ用具を探れ）を設定し、各ゾーンに体験性の高い「体験学習キット」を置き、体を動かしながら、スポーツの中に潜む科学の話題に気づき、考えたり、見つけたりできる展示会で平成13年度から開催されており、当館が17館目である。

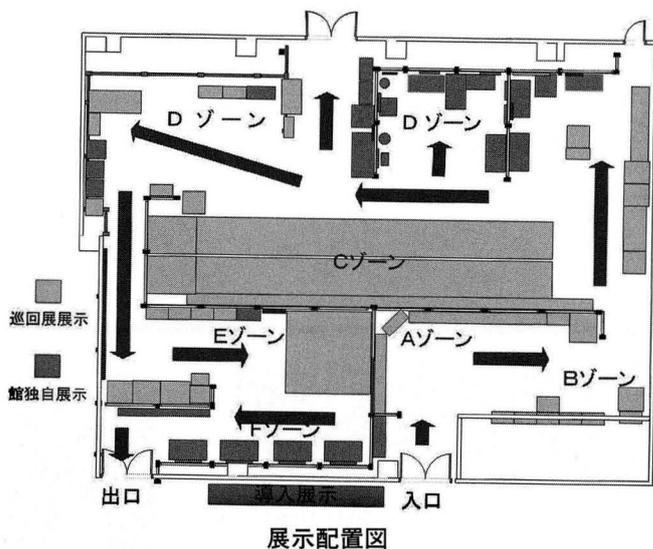
巡回展をより効果的に利用するために次の3点を試みた。

- ・当館独自展示の工夫
- ・展示配置の工夫
- ・解説ツアーの実施と解説シートの作成

### (1) 展示配置の工夫

#### ①展示動線を考えて展示

この巡回展は各ゾーンに体験学習キットを置き、触ったり、身体を動かす展示物が多いため、入場者の安全を図る上で展示場全体を見通せるように解説パネルと体験キットを配置する館が多い。当館では安全面の配慮を念頭に常時2名以上の職員を配置し、入口から出口まで図のような展示動線を考えて展示配置をした。各ゾーンで展示物、解説パネル、映像、体験学習キットを一体化させ、体験学習キットだけに入場者が集中することなくどの展示も観覧できるようにした。



#### ②職員の配置

巡回展では体験学習キットを中心にコンピュータや機器を操作する展示が多い。入場者に操作し楽しみながら多くのことを知っていただくために、操作方法を説明する職員を配置した。

### (2) 当館独自展示の工夫

#### ①興味関心を引きつける導入展示・イベント

日韓ワールドカップ開催から1年。関連イベントがサッカー協会や開催地で計画されており、サッカーへの関心は高い。そこで、(助)サッカー協会に資料の協力をお願いし、エントランスに公式の開催ポスターや代表選手ユニフォーム、試合パネル、盾、公式ボール、相手国ペナント等を展

示し、特別展会場への導入とした。

また、サッカー協会の協力を得て、サッカーに関するテーマで講演会を実施した。予約開始3日間で募集人数を超える問い合わせがあり、ワールドカップ関連展示と併せて入館者の特別展への関心を喚起した。

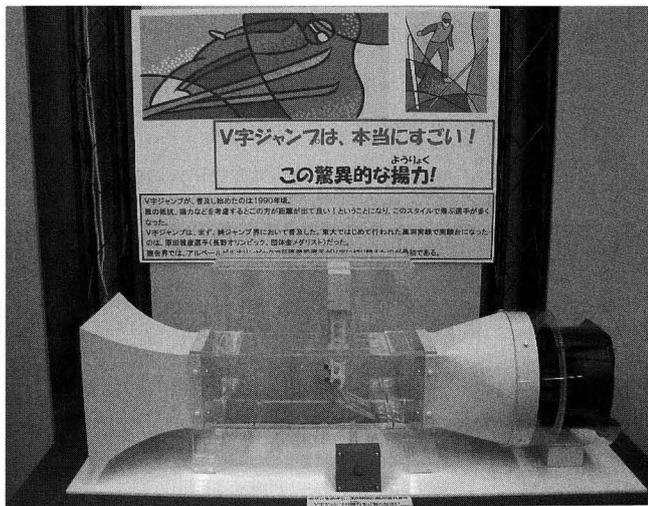
## ②スポーツ用具の進化・開発面で当館独自展示を

スポーツ用具は先端科学の進歩と共に日々進化の過程にある。意外と知られていないスポーツ用具の進化とその開発について解る資料（マラソンシューズの変遷、ゴルフクラブヘッドカットモデル、靴型・足形模型、ウェア開発人形など）をスポーツメーカーの協力を得て展示した。

また、開発の成果や効果が体験できる資料をスポーツメーカーの協力を得て展示した（3D足形測定機、冷感体験装置等）。

## ③よりわかりやすい展示にするための補助的資料

スポーツ用具や競技に潜む物理学をパネルだけで説明するのは難しい。そこで、スキージャンプのV字型飛行の揚力の働きをよりわかりやすく説明するために写真のような実験装置を製作し、入場者に体験してもらった。



実験装置：V字型飛行の秘密

また、スポーツ用具の開発実験や用具の製造工程、用具の使い方など解説パネルだけではわからないものが多い。そこで実際の競技や実験開発の様子、製造工程等の映像を障害者スポーツ協会やメーカーの協力を得て設置した。

## (3) 解説ツアーの実施と解説シートの作成

### ①解説ツアーの実施

特別展では、展示物やイベントをより効果的にご覧いた

だくために解説員による解説ツアーを11年度から実施している。解説員は特別展担当職員から事前に何度か研修を受け、解説資料を基に20分間の解説ツアーシナリオを作成し、1日3回の解説ツアーを行った。また、事前申込のあった団体入場者には担当職員による解説ツアーを行った。詳しくわかりやすい展示物の解説や体験型展示物の操作方法の説明により入場者の満足度を高めることができた。



解説ツアー

### ②解説シートの作成

各ゾーンの展示内容を写真や図表を入れてわかりやすく解説した展示解説書（A4版各ゾーン2頁）を作成した。展示場では解説書をコピーしたものを表裏印刷しそれぞれのゾーンに入場者が自由に取れるように置いた。じっくり時間をかけて観覧できない方や展示内容をより深く知りたい方に大変好評であった。

## 3. おわりに

特別展入場者の1割にあたる630名のアンケート結果をみると、97%を超える入場者からおもしろかった、大変おもしろかったという評価を、さらに95%の方から展示会を通してスポーツの科学に関する新しい発見が見つかったという評価を得た。また、展示物の印象度調査からは体験学習キットの人気は予想通りであるが、独自展示を含め、各ゾーンほとんどの展示物に対して入場者の関心がみられたという結果が出た。

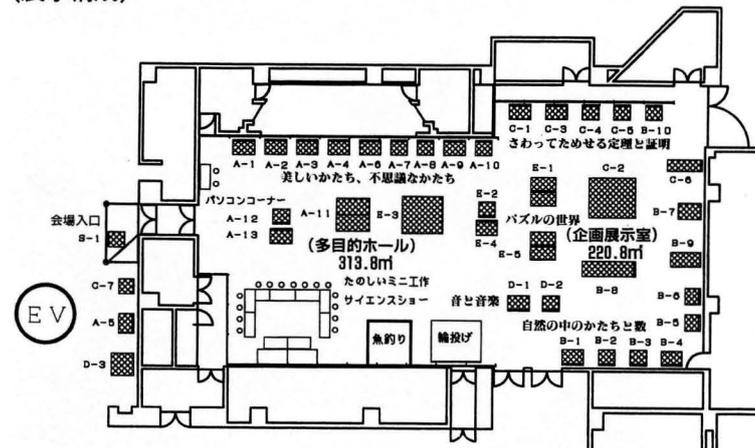
巡回展を効果的に利用するためには、それぞれの館のコンセプトと館の置かれている様々な状況をふまえて、何かしら手を加えて開催することが大切であると考えます。

# 春の企画展 数学と遊ぼうーかたちと数のワンダーランドーを開催して

栃木県子ども総合科学館 小久保 和男

(期 間) 平成15年3月15日(土)～4月6日(日)  
 (会 場) 多目的ホール・企画展示室  
 (入場者数) 19,343人  
 (企画意図) 今回の企画展は、全国科学博物館協議会の巡回  
 (展示構成)

展示「数学と遊ぼうーかたちと数のワンダーランドー」を借用して展示しました。数学のおもしろさ、不思議さ、日常生活の中の数学的知恵などを表現した作品に触れ、数学に対する興味を啓発することをねらいとしています。



A-1	プラトンの多面体	B-1	生きものが作るかたちと数	C-4	円の面積
A-2	さまざまな多面体	B-2	ハチの巣のかたち	C-5	角錐と角柱
A-3	変形万華鏡	B-3	昆虫の複眼モデル	C-6	アルキメデスの思考天秤
A-4	鍾体鏡	B-4	太陽系モデル	C-7	ごろごろリング
A-5	大型鍾体鏡	B-5	アポロニウスの円錐曲線	E-1	図形の詰め込み
A-6	断面の不思議	B-6	放物線反射実験	E-2	集会所の位置決定
A-7	マンホールのふた	B-7	楕円リリヤード	E-3	廊下を曲がるいす
A-8	定幅図形とところ	B-8	サイクロイド滑り台	E-4	同じ図形の相互接触的配置
A-9	種心ローター	B-9	正規分布シーソー	E-5	ハノイの塔を解こう
A-10	回って変わる図形	B-10	パスカルの三角形	D-1	音の高さ
A-11	変身机	C-1	ピタゴラスの定理	D-2	逆さオルゴール
A-12	メビウスの帯	C-2	ピタゴラスのいす	D-3	音楽の木
A-13	クラインの壺と結び	C-3	円の性質		

## (1) 展示品

数学をテーマとした38点の展示品は、小学校高学年から中学生程度の内容で、小さい子ども達には難しい展示品もありました。ただ、パズル、音楽等、小さい子どもでも楽しめるものもあり、子ども達は熱心に参加体験していました。



展示品

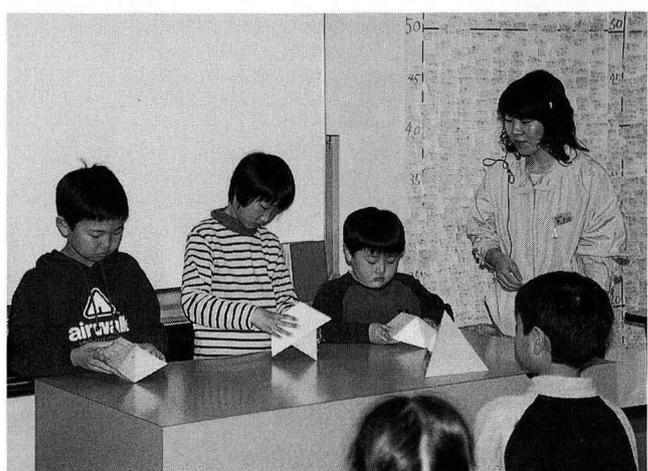
ントを用意しましたが、これも好評で多くの方に持ち帰っていただきました。

## (3) 工作教室

かたちの変化をテーマにした以下の工作3種類を実施しました。

## (2) サイエンスショー

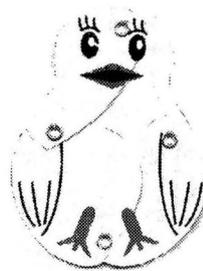
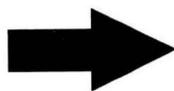
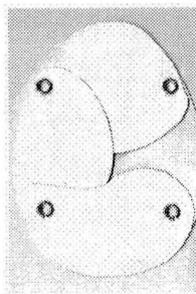
算数・数学に関する面白い実験・クイズ・マジックの中から厳選した内容であったため、とても反応が良く、ショーが終わると子ども達は道具を不思議そうに、面白そうに試していました。また少し難しい内容については解説プリ



サイエンスショー

### ①ひよこ

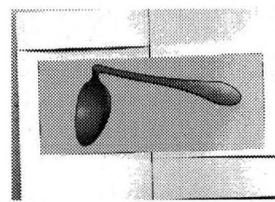
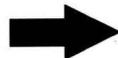
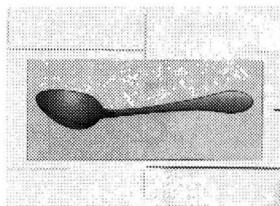
4枚の紙のパーツを4個のハトメでとめたもの。最初白い卵の形をしていて、変形して裏返すとひよこになります。小さい子どもにも人気がありました。



②念力手帳

原案はパタパタ（帯からくり）です。手帳を開くとまっすぐなスプーンの絵が描いてあり、一度閉じて念力をかけ

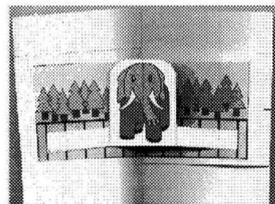
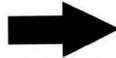
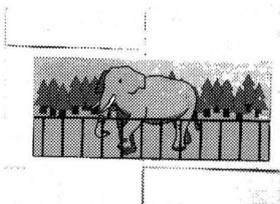
て再び開くとスプーンは直角に曲がってます。小学校中学年以上の子に人気がありました。うまく演じると大人でも驚きます。



③ぞうさん

念力手帳と同じ原理で、象が檻からとび出てきます。

小さい子どもに人気がありました。



(4) パソコン

今回の展示品に関するQ&Aを作製しました。展示品の内容と同様やや難しい内容でしたが、子ども達は意外に熱心にパソコンに向かっていました。

(5) 輪投げと魚釣り

今回の展示品が、小学校低学年以下の子どもには難しいため、それらの子ども達に楽しんでもらうために設けたコーナー。小さい子ども達が一番楽しんだコーナーです。

今回はメインとなる展示品を借用できたため、当館で用意したサイエンスショー、工作、パソコン、魚釣り、輪投げ等の準備に早めに時間をかけて取り組むことができました。また、借用した展示品自体も完成度の高いものだったので、全体としては充実した企画展だったといえます。アンケート結果を見ても「とてもおもしろかった」と「おもしろかった」という意見が全体の84%を占めていました。

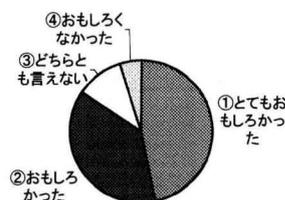
19日間の入場者は19,343人。1日あたりの入場者が1,018人。ほぼ例年並の入場者数でした。

今回の展示品は全国科学博物館協議会の借用物だったため、借料自体は無料で運搬設営撤収費用を要しただけでした。今後は無料で借用できる巡回展示物が徐々に減っていき、低予算で展示物を収集、製作せざるを得なくなると思われます。そのため一層時間と労力をかけて企画展に取り組んでいかなければならないと思われます。



魚釣り

(反省および今後の課題)





れているものだ。同コレクションは北米先住民族の間で古昔から使われてきた樹皮製のカヌーや、現在工場で作られているFRP製のものまで、ありとあらゆるカヌーの逸品とパドル等の装備、製作道具、写真、設計図、図書によって構成されている。カヌーは楓とともに、カナダを代表するシンボルになっていて、今回の特別展では、カヌーづくりの伝統と、カナダ人の生活に大きな地位を占めているカヌーに光を当てたものだ。カナダの博物館にとっても、同展は初めての試みだ。

Canada Science and Technology Museum

<http://www.sciencetech.technomuses.ca/francais/about/canot.cfm>

#### モントリオール科学館で、眠りについての特別展が開催

睡眠を研究している科学者達によると、私たちが生きている期間の1/3は睡眠によって占められているそうだ。つまり60歳に達したら、約20年間は眠っていたことになる計算だ。さらに、科学的には、睡眠が私たちの肉体だけでなく、精神も知識もリフレッシュしてくれることが証明されており、気分転換ももたらしてくれることも分かっている。しかしながら、そういったことが解明されてきているにもかかわらず、依然として、私たちの睡眠は生活様式やまわりの環境に大きく左右され、常に不安定な状態にさらされている。

モントリオール科学館で、2003年12月12日に開幕する特別展「SLEEP FROM A TO Zzz」は、眠りがもつさまざまな姿を明らかにし、あくびをはじめ、夢や睡眠のサイクル、あるいは睡眠障害、寝起きの悪さと言ったもの等についてわかりやすく紹介してくれることになっている。会期は、2004年9月13日まで。Montreal Science Centre  
<http://www.centredessciencesdemontreal.com/>

#### 大英図書館で、ダビンチ展が開催中

レオナルド・ダビンチが考案したグライダーとパラシュートのスケッチにもとづいて製作された実物大模型が、ロンドンの大英図書館のエントランス・ホールで、2003年9月4日から見れるようになった。

モナ・リサを初め、レオナルド・ダビンチが描いた絵画は有名である。しかし、彼が独創的なデザイナーであり、しかも同時に科学者であったことを裏付ける資料の存在は、実のところ一部の研究者以外には知られていない。これら資料はコーデックス codex (綴り本) と呼ばれ、冊子とい

う形態というよりも、むしろメモ書きの集まりに近く、その数(枚数)は、優に5000枚を超えている。残念ながら、彼が生きていた間はもとより、死後も活字になることはなかった。また多くは散逸してしまったが、1966年になって偶然マドリッドにある国立図書館に、まとまった形でそれらの一部が残されていることがわかった。

大英図書館で今回見られるようになったダビンチ考案のグライダーとパラシュートは、彼が残したこれらのメモの中で発見されたものである。これらの原画は、同館が所蔵している「コーデックス・アルンデル Codex Arundel」の原本の中に、ダビンチ直筆のメモとともに描かれており、原本そのものも、同館にあるジョン・リブラット・ギャラリーで常時見ることができる。グライダーとパラシュートの他に、やはりダビンチが考案し、スケッチとして残された潜水夫用の空気供給装置も実物大模型として、見ることができる。これらの模型はもともとBBCの教育プログラムのために制作されたもので、2004年1月5日まで一般公開されている。Leonardo da Vinci: From inspiration to innovation

<http://www.bl.uk/whatson/exhibitions/leonardo/diving.html>

<http://www.bl.uk/whatson/exhibitions/leonardo/glider.html>

<http://www.bl.uk/whatson/exhibitions/leonardo/parachute.html>

\* (やすい・りょう) E-post: RGYasui@obirin.ac.jp

美術

はく製

〈各種生物〉  
剥製・骨格標本・レプリカ  
加工/販売/リース



有限会社 東洋近代美術研究所

製作所 〒272-0816 千葉県市川市本北方2-18-1 ☎047-337-5678  
FAX 047-338-1978

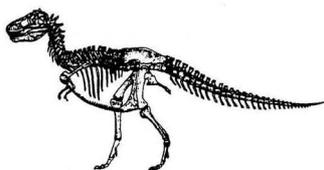
本社 〒272-0834 千葉県市川市国分5-3-25 ☎047-374-1564

# 11月12月の特別展

開催館	展覧会名	開催期間
むつ科学技術館	特別展「科学市場」	12月22日～4月11日
陸前高田市立博物館	秋の特別展「学校のお宝展」	11月1日～1月31日
陸前高田市海と貝のミュージアム	夏期特別展「タカラガイ・イモガイの世界展」	7月20日～11月30日
牛の博物館	家族で楽しむ企画展2003「お猿さん」	11月19日～2月22日
秋田大学工学資源学部附属鉱業博物館	後期企画展「夢空間を翔るマテリアル」	10月1日～11月10日
栃木県立博物館	企画展「ものが語る人と文化ーミュージアム・コレクション再発見ー」	10月4日～11月24日
	自然系テーマ展「生きものたちの冬」	11月15日～2月29日
	人文系テーマ展「観光と余暇」	12月6日～1月25日
	人文系テーマ展「冬を描く」	12月6日～2月8日
	人文系テーマ展「おじいさんやおばあさんの子供のころの暮らし」	12月6日～3月31日
群馬県立自然史博物館	第20回企画展「毒と薬ー毒をあやつる生き物たちー」	10月4日～11月24日
川口市立科学館	特別展「スポーツの科学」	11月1日～12月14日
狭山市立博物館	秋の企画展「刀身彫刻ー橋本琇巴の世界」	10月4日～12月7日
所沢航空発祥記念館	特別展「探検！ヘリコプターの世界」	10月4日～12月7日
埼玉県立自然史博物館	特別展「里山の自然」	10月4日～12月7日
千葉県立中央博物館	特別展「野の花・今昔」	9月23日～11月24日
交通博物館	ライト兄弟初飛行100年記念ミニ展示会「飛行機ことはじめ」	9月13日～12月23日
国立科学博物館	企画展「北里柴三郎生誕150年記念展」	11月15日～12月14日
国立科学博物館附属自然教育園	企画展「森のクラフト」	10月19日～12月23日
機械産業記念館（TEPIA）	「ロボットと近未来ホーム～日本を元気にする新技術～」	9月10日～12月17日
たばこと塩の博物館	特別展「大見世物」～江戸・明治の庶民娯楽～	11月1日～12月14日
多摩六都科学館	「トールペイント展」	11月23日～12月11日
東京都高尾自然科学博物館	企画展「どんぐりのふしぎ」	7月19日～12月14日
横須賀市自然・人文博物館	特別展「近代日本外交の始まりーペリーー来航から万延遣米使節への歩み」	8月1日～12月28日
馬の博物館	特別展「近代競馬史」	11月8日～12月27日
横浜子ども科学館	「おもちゃの島～作ってあそぼう～」	9月13日～11月9日
	「科学遊園～科学のスポーツ広場」	11月20日～2月29日
神奈川県立生命の星・地球博物館	特別展「丹沢の自然ーその生い立ちと生きものー」	11月1日～1月25日
富山市科学文化センター	公募写真展「大地の表情」	10月25日～11月24日
	企画展示「雪の結晶～写真と折り紙～」	11月29日～12月14日
立山カルデラ砂防博物館	企画展「立山の崩れと生きる砂防を支えるひとたち」	10月4日～12月7日
	写真展「自然から学ぶ」	12月13日～12月25日
佐久市子ども未来館	特別企画展「科学を体感！電気と光のおもしろ実験工房」	10月10日～12月23日
岐阜県博物館	秋季特別展「野の幸・山の幸、岐阜～発見！キノコと山菜、薬草の魅力～」	9月27日～11月24日

開 催 館	展 覧 会 名	開 催 期 間
中津川市鉱物博物館	第7回企画展「飯盛里安博士97年の生涯－放射性鉱物研究の先達－」	8月3日～11月23日
静岡市立児童会館	閉館記念展「さよなら児童会館展」	10月31日～11月9日
東海大学海洋科学博物館	ディズニー映画「ファインディング ニモ」公開記念第1弾イベント（仮称）	11月15日～2月1日
ディスカバリーパーク焼津	特別展「たのしい化石」	10月9日～11月24日
	特別展「おもしろサイエンス」	12月17日～2月15日
浜松科学館	わかふじ国体開催記念巡回展「科学遊園～科学のスポーツ広場～」	10月10日～11月16日
豊橋市自然史博物館	収蔵資料紹介展「猿でご申（ざる）」	12月20日～2月1日
名古屋市科学館	特別展「アート オブ スター・ウォーズ展」	10月18日～12月7日
あいち健康の森健康科学センター 健康科学館	秋季特別展示「いろいろな秋に挑戦しよう」	10月11日～11月30日
	企画展示「なるほど納得『耳のふしぎ展』」	12月20日～1月25日
	冬季特別展示「耳と音のふしぎなせかい」	12月20日～1月25日
トヨタ博物館	企画展「モータースポーツの世界」	10月7日～12月7日
鳥羽水族館	企画展「ボーンズ博士のホネ研究所」	7月12日～11月30日
滋賀県立琵琶湖博物館	企画展示「外来生物 つれてこられた生き物たち」	7月19日～11月24日
	ギャラリー展示「滋賀県環境学習フェア」	12月3日～12月11日
きしわだ自然資料館	特別展「キシワダワニとそのなかまたち～化石でたどる関西の350万年～」	10月21日～12月23日
兵庫県立人と自然の博物館	企画展 兵庫の貴重な自然～「いきもの」共生の「まほろば」～	9月20日～12月21日
明石市立天文科学館	「宇宙をのぞく科学の目」展	10月16日～12月14日
	「全国カレンダー展」	12月16日～1月23日
広島市こども文化科学館	広島県・広島市児童生徒発明くふう展	11月7日～11月16日
	広島県未来の科学の夢絵画展	11月7日～11月16日
	計量に関する図画ポスター展	11月18日～11月26日
	小学生（環境・ゴミ問題）絵画コンクール入賞作品展	11月28日～11月30日
	ネイチャーフォト作品展	12月9日～1月18日
防府市青少年科学館	開館5周年記念企画「ソラール 太陽の恵み展」	10月4日～11月24日
山口県立山口博物館	スポット展示「時計とこよみ」	10月21日～11月30日
	企画展「サイエンスやまぐち2003」	10月31日～11月24日
美祿市歴史民俗資料館	特別展「ふしぎな石・おもしろい石」展	11月1日～11月24日
愛媛県立博物館	テーマ展「高縄半島の植物」	10月1日～11月27日
	テーマ展「人を魅了する石」	12月2日～1月28日
愛媛県総合科学博物館	巡回展「日本自然科学写真協会写真展」	10月25日～11月9日
	移動美術館「くらべてみれば～ふたつの絵から見えること」	11月22日～12月7日
	巡回展「ふれあい宇宙フェスティバル～“きぼう”の世紀へ～」	12月13日～1月18日
福岡県青少年科学館	「おもしろサイエンスフェスティバル」	11月8日～11月9日
		11月22日～11月24日
佐賀県立宇宙博物館	秋の企画展「イネとお米の生き物たち～稲作が育んだ生物多様性」	10月3日～11月16日
沖縄県立博物館	特別企画展「沖縄織物へのメッセージ～田中俊雄の研究～」	10月28日～12月7日

※世界の化石・  
鉱物・恐竜・化石  
人類・動物骨格  
標本及び模型の  
輸入専門業者



ティラノサウルス・REX

株式会社 **ゼネラルサイエンス**  
コーポレーション

〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-14 赤坂ベルゴビル802  
TEL 03 (3583) 0731代表 FAX 03 (3584) 6247

ミュージアムの集客を強力にサポート  
新たなコミュニケーションメディア【イベントナビ】



イベント情報ポータルサイト

<http://www.eventnavi.ne.jp>

全国のイベント情報年間約10万件を発信するイベントナビ。  
企画展・特別展などへの来場促進に、ぜひご利用ください。

イベント情報  
無料登録受付中!

株式会社 **乃村工藝社**

本社：東京都港区芝浦4-6-4 〒108-8565 電話 03-3455-1171代  
ホームページ <http://www.nomurakougei.co.jp>

ディスプレイおよび建築の調査・コンサルティング  
企画・設計・デザイン・プロデュース・演出・制作施工  
ISO9001認証取得（文化環境カンパニー）ISO14001認証取得（MCカンパニー）

INTERIOR/EXTERIOR/DESIGN/EQUIPMENT  
**ONY KOBO CO.,LTD.**

東京都千代田区神田神保町2-7-3シグマ神保町4階  
TEL (03) 3221-1102代 FAX (03) 3221-1185



動物園/水族館/博物館  
企画・設計・施工

調査・企画・デザイン・設計・製作・施工・  
監理・運営およびコンサルティング・プロデュース

より良い「社会交流空間づくり」にむけて…

株式会社 **丹青社**

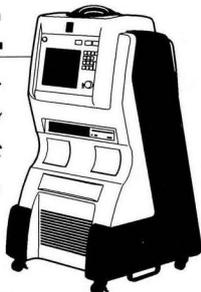
〒110-0005 東京都台東区上野5-2-2 TEL 03-3836-7221(代表)  
札幌・仙台・新潟・名古屋・大阪・鳥取・福岡  
URL <http://www.tanseisha.co.jp>

省スペース展示に最適な、小型ドームCG映像システム

**メディアグローブ、誕生**

メディアグローブは世界で初めてフルカラー  
投映を可能にした小型・高精細のデジタル  
プラネタリウム。さらにドーム全天に高画質な  
CG映像を投映するマルチ投映機能を持ち、  
さまざまなシーンで活躍します。

▶各種イベント等にも対応。レンタルもご相談ください。

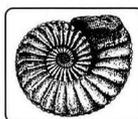


コニカミノルタ **プラネタリウム株式会社**

東京事業所 〒163-0512 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル12階 TEL (03) 3349-5301  
大阪事業所 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町2-3-10 西本町インテス11階 TEL (06) 6110-0570  
東海事業所 〒442-0067 愛知県豊川市金屋西町1-8 TEL (0533) 89-3570  
URL:<http://konicaminolta.jp/planetarium/>

**TOKYO SCIENCE CO., LTD.**

ミュージアム・ショップ向/教育用地学標本



since 1974

地学標本(化石・鉱物・岩石)  
古生物関係模型(レプリカ)

大英博物館/恐竜復元模型

●常設ショールーム：紀伊屋書店・新宿本店1F TEL.03(3354)0131(代表)

**東京サイエンス**

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-2 イワオ・アネックスビル  
TEL.03(3350)6725 FAX.03(3350)6745

<http://www.tokyo-science.co.jp> E-mail:info@tokyo-science.co.jp

全科協情報

[2004動物行動のデジタル映像コンテスト]

募集テーマ：「求愛」または「擬態」（今回は「教育で使え  
る映像」という視点で評価）

募集期間：2003年11月1日～2004年1月31日

問い合わせ：MOMOプロジェクト(ethology@zoo.zool.  
kyoto-u.ac.jp)

担当者：繁宮悠介、藪田慎司

全科協ニュース編集委員会

NHK放送博物館 チーフディレクター 河野光子  
滋賀県立琵琶湖博物館 企画調整課長 高橋啓一  
ミュージアムパーク茨城県自然博物館

資料課長 國府田良樹

独立行政法人国立科学博物館 展示・情報部情報サービス課長 井上透  
独立行政法人国立科学博物館 展示・情報部情報サービス課専門職員原田紀子

全科協事務局

国立科学博物館 展示・情報部情報サービス課 村上 剛  
Tel.03-5814-9857 Fax.03-5814-9898

発行日 平成15年11月1日

発行 全国科学博物館協議会©

〒110-8718 台東区上野公園7-20 国立科学博物館内

印刷 島崎印刷株式会社